

令和6年度 第3回 学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立和泉支援学校
校長名	芥川 豊和

開催日時	令和7年2月5日(水) 10:00 ~ 12:00
開催場所	大阪府立和泉支援学校
出席者(委員)	藤井会長、石田委員、永井委員、菅野委員、岸田委員
出席者(学校)	芥川校長、大原教頭、橋本教頭、山本首席、東首席・高等部主事 阿部首席・米田中学部主事、廣田首席、大野小学部主事
傍聴者	なし
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度第3回学校運営協議会 次第</li> <li>令和6年度学校教育自己診断 児童生徒の個別意見</li> <li>令和6年度学校経営計画(案)</li> <li>令和7年度学校経営計画(案)</li> </ul>

議題等(次第順)	
<p>(1) 令和6年度学校経営計画達成状況(案)</p> <p>(2) 学校教育自己診断の結果と分析</p> <p>(3) 授業アンケート</p> <p>(4) 令和7年度学校経営計画(案)</p>	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>(1) 令和6年度学校経営計画達成状況(案)</p> <p>(2) 学校教育自己診断の結果と分析</p> <p>(3) 授業アンケート</p> <p>(4) 令和7年度学校経営計画(案)・・・承認</p> <p>&lt;意見等&gt;</p> <p>(1)</p> <p>質問 ヤングケアラーの把握についてどのように取り組んでいるか。</p> <p>回答 教員の見立てによる数の報告を集約し、報告している。</p> <p>意見 把握したヤングケアラーへの対応について学校だけでは対応しきれないので、自治体行政との連携を前提にし、丁寧に対応していく必要がある。対応までを重視した学校経営計画の目標設定が必要ではないか。</p> <p>質問 安否確認ツールについて具体的にどのようなものか。</p> <p>回答 マチコミメールで配信し、Googleフォームに入力する形で実施。平日も休日も実施している。教員についても来年実施予定。</p> <p>(2)</p> <p>意見 施設については他の高等学校なども抱えている問題である。むしろ和泉支援学校ではここ数年で施設の改善がかなり見られるので、このまま取り組んでいただきたい。</p> <p>意見 学校運営について、労働環境の改善についての項目の教職員の数字の低さが気になる。教職員の方にももう少し広い視点で考えていただく必要があるのではないかと。</p> <p>質問 教員の数が少ないという意見があるが、定員が少ないのか欠員が出ている状況なのか。</p> <p>回答 欠員は非常勤の先生等で対応しているので定員の問題が大きいのではないかと考える。</p> <p>意見 学校教育自己診断について、様々な意見があるので自己診断結果を単に公表するのではなく、できていることを肯定的に捉えられるように示したほうが良い。</p> <p>(3)</p> <p>質問 授業参観の科目はどのように決めているか。</p> <p>回答 各学部ごとに年間で教科を決めて実施している。</p> <p>意見 色々な教科を参観しても、評価の観点や授業のねらいが、その時1度の授業を見ただけでは完全には分からないので、ただ単に感想をとるだけではなく、テーマを持って授業参観の計画を行い、保護者も考えるきっかけとなるような取り組みが必要ではないか。</p> <p>回答 来年度キャリア教育についてテーマをもち教育課程を検討していくので、保護者も考えるきっかけとなるような取り組みとなるように考えていく。</p> <p>質問 万博には行くのか</p> <p>回答 こちらから様々な要望を出しながら、出てくる情報を整理して、できるだけ行く方向で検討している。</p> <p>意見 教職員のみなさんは大変だと思いますが、ぜひ児童生徒と楽しみながら行ってほしい。</p> <p>(4)</p> <p>質問 「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」に関する校務支援システムの変更について、府統一のフォーマットができるのか。</p> <p>回答 一定各学校に応じたアレンジは部分的にできるが、一定のフォーマットで作成することになる予定である。</p> <p>質問 他の委員への質問。計画の中にPTAとの連携とあるが、PTAのあり方について課題がある。PTA任意加入についてどのような対応をしているか他地域の取り組みなど教えてほしい。</p> <p>委員の回答 PTAは児童生徒のための学校教育を支えるという歴史的な流れを理解してもらい、考えてもらうところを重視し、PTAはなくすことはないという前提に進める必要がある。PTAがなくなった学校はうまくいっていない。PTAだけでなく様々な親の会の存続が危ぶまれている状況がある。子どもを真ん中に据えて、多様な意見をまとめなければならぬ。ゆるめための確認ではなく、続けるための確認をしていく必要がある。</p>	
来年度の会議日程	
日時	第1回予定 令和7年6月4日(水)
会場	大阪府立和泉支援学校